



中山市長 中高年の健康増進という部分で、ポイント制というものを、最近よく聞きます。運動に参加するとポイントがつき、そのポイントを地域通貨に換えられるという仕組みです。地域通貨を利用

会員 今年度、高体連の地区大会（水泳競技）が開催されませんでした。八重山3高校のうち八重山高校だけしか選手がないので対抗にならずそのまま県大会に行くことになりました。泳ぎたい子はいるが指導者はいない、また年間を通して利用できるプールもないでの、なかなか環境に恵まれていないと感じます。

れば、日差しの強い時であっても長い時間練習できると思います。

私たちでプールを作つてあげて、指導者も育成したいと考えています。

会員 現在、トライアスロンが盛んになっているので、市営プールの改修はその一助にもなると思います。長い期間で考えると費用もかかると思うが、市民の皆さんにプールを気楽に使つていただくためにも、市が投資をしていいのではと感じます。



中山市長 今日の意見を集めようと、温水プールが一番必要だと感じました。普段から足腰が弱い高齢の方が多いので、行政だけでなく民間と一緒に進めていくことができれば、実現は早いと思います。

会員 トライアスロンの話になりますが、私も含めて選手は冬場も思い切り運動をします。練習後の疲れは水泳などで、地域の商店も潤うと思います。

すれば、市民の皆さんも楽しんで運動できると思います。

会員 日頃、運動をしない人たちが運動できる環境を作ることが求められていると感じます。うるま市には市が運営している「うるみん」というスポーツ施設があります。そこにはプールやジャグジー

が石垣島で合宿を予定しています。今後も、皆さんのお力を借りしながら、石垣市を更にスポーツで盛り上げていきたく、今日は色々なご意見をいただきたいと思っています。



等があり、市民が自ら利用料を負担して体を動かしていくことを負担して体を動かしていく必要があります。石垣市のスポーツアイランドを目指していく中で、このようなスポーツ施設を作つていただきたいと考えています。

市長とランチミーティング 第54回「市長とランチミーティング」は平成27年7月1日(水)に「グループ嵐RUN、石垣市水泳協会、八重山トライアスロン協会」の皆さんと行われました。

スポーツアーランド石垣市を目指して

54

位の成績とはいかないが、少しづつレベルアップをしていきます。しかし、夏は暑く水温も高いのでなかなかプールを利用できないのが現状です。

市営プールに遮光ネットを設置していただければ、子どもたちだけでなく女性も利用しやすいと思います。

り歩いたりすることで疲れた体をほぐすことができます。ロットの選手や合宿に来る方も利用すると考えています。

中山市長 屋内にプールを作り、年間を通して利用できるといいですね。またスポーツだけではなく女性も利用しやすいと思います。

宮良課長 平成28年度は実施設計、平成29年度に解体し、平成30年度には建設をする計画をしています。

中山市長 市営プールの改修計画がありますよね。

宮良課長 石垣市は一年を通して温暖なので、全国からスポーツの合宿地として注目をされていますが、それに伴う施設の整備が遅れていて、対応ができていないと感じます。その中でも一番必要とされているは温水プールです。練習の後、温水プールの中を泳いだ

副市長 水泳競技をする人が利用するプールと、市民向けのプールの二つが必要になると考えています。少し費用もかかりますが、片方は温水プールにする使い分けが良いと思います。

中山市長 市営プールの改修計画がありますよね。

会員 子どもたちの間でも、トライアスロンはとても盛んに参加しているが、練習場である学校のプールは遮光ネットがないので、練習時間が限られています。学校のプールにも遮光ネットがある

会員 是非、ポイント制を導入してほしいです。貯めたポイントを地域通貨に換えることで、地域の商店も潤うと思います。

できません。冬場の利用を考えても、温水プールは必要だと思います。

会員 実際にスポーツ施設が欲しいという声があり、また私たちも、そのような施設で運動したい思いもあります。しかし、建設には莫大なお金がかかるので、行政だけでなく民間と一緒に進めていくことができれば、実現は早いと思います。

中山市長 今日の意見を集めると、温水プールが一番必要だと感じました。プールができるまでの間は、遮光ネットを設置できる態勢でやっていきたいと考えています。色々調べながら、できることから優先的に進めていき、中高年の皆さん方が毎日泳ぐことができる環境を作つていただきたいです。今日はありがとうございました。